



2018年8月4日(土)

夏休み朗読会

「朗読だからおもしろい！真夏の怪談話」



暗闇にライトの灯かりが恐怖を誘います…

今年もたくさんのお客様をお迎えして、真夏の恒例イベントとなった、ちょっと怖くて楽しい「真夏の怪談話」を開催いたしました。

朗読してくださった「こうばこの会」のみなさんは、視覚に障がいがある方達を中心としたトークパフォーマンス集団です。

部屋の電気が消され、真っ暗になると、ポロン…ポロン…と、とぎれとぎれに「かごめかごめ」のメロディーが響いてきました。

メロディーはだんだん遅くなり、最後の音がとだえると、真っ暗闇の中にぼうっとライトの明かりがひとつ灯りました。

さあ、お話の始まりです…

学校や家庭、ごく日常にひそむ恐怖の数々…

語り手の臨場感あふれるお話に、時折息をのむ音や、「こわ〜い…」と言う声が聞こえてきます。



「ある朝」(『学校の怪談 5』より)では、間違えて死者の集まりにまぎれ込んでしまった女の子が死者たちに追われる場面で、語り手総出の演出が！

「まあてえええ！」

「もう少しでつかまえられるのにiiiiiiiiiiii！」

突然、地の底からわいてくるような大勢のうめき声が部屋中に響き会場が凍りつきました。

最後のお話が終わって「パッ」と照明がついた瞬間、みなさんの「はぁーっ」という安堵の音が聞こえました。



アンケートでは

「お話にとっても引き込まれた。

聞いていて、映像が浮かぶので怖かった。」

「みなさんの声がとてもいいです。話し方がとても上手で怖さ倍増。」

など、出演者への賞賛の声を数多くいただきました。

中には、「昨年よりこわかった。もっと怖くしてほしい(3倍)」というお子さんからのご意見も。

生で聞く迫力はやはりすばらしいですね！



「こうばこの会」のみなさん、ありがとうございました

怪談話は夏の楽しみの1つです。

来年も開催予定ですので、ぜひご参加下さい！



今回の演目

「おい おい」(『九十九怪談第1夜』より)

「命の火」(『学校の怪談 4』より)

「かつじくん」(『てのひら怪談 乙丑』より)

「トイレの太郎さん」(『うわさの怪談 BUNKO1』より)

「トイレの花子様」(『金の本 時を超えた怪談』より)

「あなたが手にしたその本は・・・」(『平成うわさの怪談 11』より)

「直進です」(『怪談レストラン 46』より)

「ある朝」(『学校の怪談 5』より)

「呪いの杖」(『怪談レストラン 11』より)

「赤い傘」(『学校の怪談 6』より)

※府中市立図書館に所蔵が無い本もあります

